

令和6年度

さいたま市立八王子中学校部活動に係る活動方針

2024年4月

1 はじめに

部活動は、興味と関心をもつ同好の生徒が、部活動を通して交流したり、より高い水準の技能や記録に挑戦したりする中で、その部活動の楽しさや喜びを味わい、豊かな学校生活を経験する活動です。部活動の教育的意義は大きく、個性の伸長や規範意識の高揚、異年齢での人間関係の構築等、大きな役割を果たしています。また、日ごろの練習の成果を大会やコンクール等で発揮することにより、達成感や充実感又は悔しさなどを味わうことは、人間形成にとって重要な機会であり、八王子中学校の学校教育目標「大志を抱け ひとみ 輝く 八中生 ～賢く 豊かに 逞しく～」の達成を図る上で、大変意義ある教育活動の一つです。

八王子中学校部活動に係る方針は、部活動の意義や目的を改めて確認し、生徒や保護者、指導者にとっても、安全で充実した活動となり、生徒主体の教育活動として、部活動が適切に運営されることを目指しています。

2 部活動の意義

生徒の興味関心を基に、スポーツや文化、科学等に親しませ、諸活動への意欲の向上や、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力に資するもの。

学校教育の一環として行われる部活動は、異年齢との交流の中で人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりするなど、その教育的意義は高く、生徒の生きる力の育成や豊かな学校生活の実現のために効果をもたらすことが期待されます。

また、教員にとっても、生徒とコミュニケーションを図り、授業では見られない生徒の長所や特徴を発見したり、良好な人間関係を形成したりする場として有効に活用することができるなど、重要な役割を担っています。

3 適切な運営のための体制整備

(1) 年間の活動計画の策定等

ア 部活動顧問は、年間の活動計画（活動日、休養日及び参加予定大会日程等）並びに毎月の活動計画及び活動実績（活動日時・場所、休養日及び大会参加等）を作成する。

イ 校長は、活動方針及び上記アの活動計画等を学校のホームページへの掲載等により公表する。

(2) 指導・運営に係る体制の構築

ア 校長は、生徒や教員の数、部活動指導員の配置状況を踏まえ、指導内容の充実、生徒の安全確保、教員の長時間勤務の解消等の観点から円滑に部活動を実施できるようにする。

- イ 校長は、部活動顧問の決定に当たっては、校務全体の効率的・効果的な実施に鑑み、教員の他の校務分掌や、部活動指導員の配置状況を勘案した上で行うなど、適切な校務分掌となるよう留意するとともに、学校全体としての適切な指導、運営及び管理に係る体制の構築を図る。
- ウ 校長は、毎月の活動計画及び活動実績の確認等により、各部の活動内容を把握し、生徒が安全に活動を行い、教員の負担が過度とならないよう、適宜、指導・是正を行う。
- エ 校長は、教員の部活動への関与について、「学校における働き方改革に関する緊急対策（平成29年12月26日文科科学大臣決定）及び「学校における働き方改革に関する緊急対策の策定並びに学校における業務改善及び勤務時間管理等に係る取組の徹底について（平成30年2月9日付け29文科初第1437号）」を踏まえ、法令に則り、業務改善及び勤務時間管理等を行う。

4 部活動の適切な休養日の設定について

- (1) 休養日の設定や活動時間は、以下を基準とする。
 - ア 学期中は、週当たり2日以上休養日を設ける。週当たりの休養日については、平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日（以下「週末」という。）は少なくとも1日以上を休養日とする。（ただし、週末に2日間の休養日を設ける場合には、平日に5日間の活動を行う場合がある。また、週末に大会・コンクール等への参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。）
 - イ 長期休業中は、学期中の休養日の設定に準じ、学校閉庁日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）は、休養期間とする。
 - ウ 1日の活動時間は平日2時間程度、休業日は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。
- (2) 休養日の設定については上記（1）ア・イを原則とし、部活動の特性や実態により年間を見通した長期的な視点で活動時間や休養日を設定する必要がある場合は、（1）の休養日数と同数以上になるように設定する。
- (3) 休養日の設定に当たっては、保護者の要望なども取り入れながら設定する。
また、部活動等を欠席したい旨の申し出があった場合についても、適切に対応する。

5 部活動 活動計画

(1) 部活動の数

次の部活動を設置する。

部活動名	部活動名	部活動名
野球	ソフトテニス（女）	科学技術
ソフトボール	バレーボール（男女）	吹奏楽
サッカー	バスケットボール（男女）	美術
陸上競技	卓球（男）	生活

(2) 活動日時

ア 平日

- ・活動曜日 月・火・水・木・金

（土曜日、日曜日のいずれかに活動を行う場合、1日以上 の休養日を設定）

- ・活動時間（授業日）※長期休業中は除く

月	活動時間	最終下校時間	月	活動時間	最終下校時間
4	16:00～17:45	18:00	10	16:00～17:45	18:00
5	16:00～17:45	18:00	11	16:00～17:15	17:30
6	16:00～17:45	18:00	12	16:00～16:45	17:00
7	16:00～17:45	18:00	1	16:00～16:45	17:00
8	16:00～17:45	18:00	2	16:00～17:15	17:30
9	16:00～17:45	18:00	3	16:00～17:45	18:00

※公式戦1週間前については30分の活動延長を認める場合がある

※月曜日については15:00からの活動となる。

イ 週末

- ・土曜日、日曜日のうちいずれかの1日以上 の休養日を設定

ウ 長期休業中

- ・学期中の休養日の設定に準じ、学校閉庁日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）は休養期間とする。

- エ 休養日の設定については上記4（1）ア・イを原則とし、部活動の特性や実態により年間を見通した長期的な視点で活動時間や休養日を設定する必要がある場合は、4（1）ア・イの休養日数と同数以上になるように設定する。